

第3回 AOSSG 会議の 年次総会報告 (総括)

ASBJ 副委員長 **かとう あつし**
加藤 厚



AOSSG 会議の様子

はじめに

2011年11月23日、24日に、第3回アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 会議の年次総会が、オーストラリアのメルボルンにおいて開催された。同会議は、オーストラリアの会計基準設定主体 (AASB) の主催により、アジア・オセアニア地域における21の会計基準設定主体、国際会計基準審議会 (IASB) の代表者達及び国際財務報告基準財団 (IFRS 財団) トラスティーが参加して行われた。

今回の年次総会において特筆すべきことは、IASB の新しい首脳陣である Hoogervorst 議長と日本の鷲地理事が、他の2人の理事と共に初

めて参加されたことである。特に、Hoogervorst 議長は、総会全体に参加された結果、各ワーキング・グループ (WG) のテクニカル・アビリティの高さを目の当たりにして、AOSSG の活動が今後ますます IASB の基準開発プロセスに大きく貢献していくことを確信したとの賛辞を表明された。

また、AOSSG の年次総会も、2009年の設立以来3回目になり、AOSSG の活動が安定しさらに次のレベルへの成長期に入ったという雰囲気盛り上がった総会でもあった。AOSSG の設立及びその目覚ましい活動が、世界の各地域に刺激を与え、同じような試みが他の地域でも行われ、その結果、ラテンアメリカにおいて Group of Latin American Accounting Standards Setters (GLASS) が設立されたことは、AOSSG 設立の原動力の一翼を担った企業会計基準委員会 (ASBJ) の努力が実った証であり、非常に喜ばしいことである。

ASBJ は、今回の総会をもって議長を退任したが、今後も議長諮問委員会の主要メンバーとして、AOSSG のさらなる発展にリーダーシップを発揮していきたいと思っている。

1. AOSSG 発足の背景

過去数年間にわたって、日本、中国、韓国の会計基準設定主体は、日中韓3か国会議を定期的に行い、国際財務報告基準（IFRS）への取組みに関する意見交換を行ってきた。そして、この会議の趣旨をアジア・オセアニア全体にも広げようという声が高まりをみせてきていた。そこで、2009年4月に、日中韓を中心としたアジア・オセアニアの主要国／地域が北京に集まって AOSSG 設立のための準備会合を開き AOSSG の設立を決定した。そして、2009年11月4日、5日に、マレーシアのクアラルンプールで AOSSG の第1回年次総会が開かれ、覚書（MoU：Memorandum of Understanding on AOSSG）が承認されて、AOSSG が正式に発足したのである。



第3回 AOSSG 年次総会の様子

2. AOSSG の目的

第1回会議で合意されたとおり、AOSSG は以下を目的とするものである。

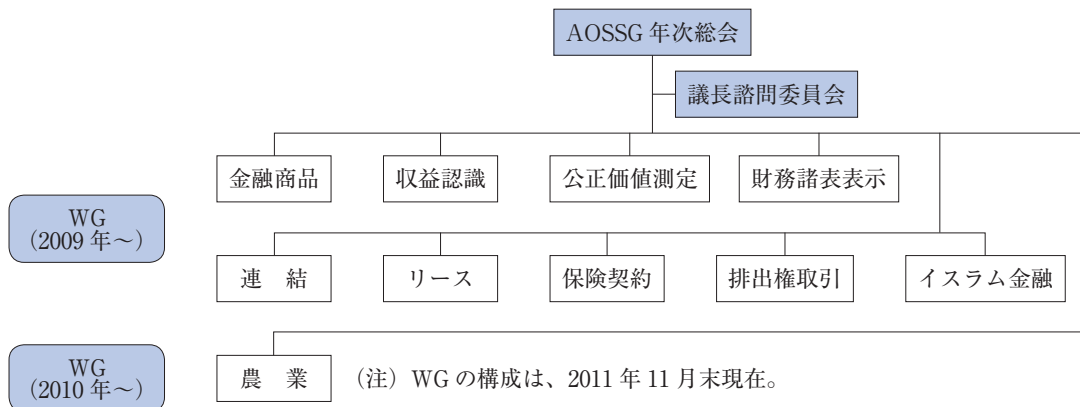
- (a) 当地域の各国／地域による IFRS の採用及

- び IFRS とのコンバージェンスを促進すること
- (b) 当地域の各国／地域による IFRS の整合的な適用を促進すること
- (c) IASB の専門的活動に対する当地域からの意見を調整すること
- (d) 当地域の財務報告の品質改善のため、政府や規制当局、他の地域組織や国際機関と協力すること

3. AOSSG の組織

AOSSG は、年次総会、議長諮問委員会及び WG から構成されている。これを組織図に示す

図1：AOSSG 組織図



と、前頁の図1のようになる。

(1) 年次総会

MoUの規定によって、年に1回 AOSSG メンバーによる総会を開催し、この他にも、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

(2) 議長諮問委員会

この委員会は、議長及び副議長による組織運営を補助するとともに、WGが設置されていない分野について適時に対応することを主目的としている。また、この委員会が設置されたもう1つの趣旨として、AOSSGの議長、副議長の任期が当初1年であったため、ある程度固定した主要メンバー国／地域によってAOSSGの運営を継続性をもって行えるようにすることもあった。後述のように、今回の年次総会において、議長、副議長の任期は2年に延長されたが、この委員会設置の趣旨は依然として生きている。

この委員会のメンバーは、議長及び副議長によって選任されるが、現在のメンバー国／地域は、日本、オーストラリア（議長）、香港（副議長）、中国、インド、韓国、マレーシア、シ

ンガポールとなっている。

(3) ワーキング・グループ (WG)

前述の目的2.(c)を達成する観点から、AOSSGでは、IASBが進めているプロジェクトについて意見を取りまとめるためのWGが設置されている。初年度に、金融商品、収益認識、公正価値測定、財務諸表表示、連結、リース、保険契約、排出権取引、イスラム金融の9つのプロジェクトに関するWGが設置され、積極的な活動を行ってきた。なお、第2回年次総会において、国際会計基準 (IAS) 第41号「農業」について10番目の新たなWGが設置されている。

4. 第3回 AOSSG 会議の年次総会の模様

(1) 参加組織

今回の会議に参加した会計基準設定主体は、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、中国、ドバイ、香港、インド、インドネシア、イラク、日本、韓国、マカオ、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキス



左：加藤副委員長 中央：西川委員長 右：関口専門研究員



ASBJ 加藤副委員長

タン、フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、タイ、ベトナムからの21団体であった。

(2) 年次総会の内容

① プログラム

今年の年次総会のプログラムは、別添のとおりであり、このプログラムに沿って、主なものの概要を以下に紹介する。

② オープニング・アドレス

会議の冒頭のオープニング・アドレス（開会宣言）において、オーストラリア財務報告審議会（AFRC）議長の Lynn Wood 女史から、AOSSG の目覚ましい発展を称え、世界の IFRS 環境において今後その重要性がますます高まっていくことの認識を新たにして、第3回年次総会の開会が宣言された。

③ 議長、副議長の選任

AOSSG の組織運営に関する議論では、改訂前の MoU に従って、本総会の開会と同時に ASBJ の西川郁生委員長が議長を退任し、AASB 議長の Kevin Stevenson 氏が、AOSSG

の新しい議長に就任した。また、副議長については、香港以外から立候補がなかったことが報告され、その結果、香港公認会計士協会（HKICPA）会計基準委員会会長の Clement Chang Kam Wing 氏が副議長に就任することが承認された。

西川委員長からは、前述のオープニング・アドレスに先立って、過去1年間における AOSSG 議長としての活動報告が行われた。その後、Kevin Stevenson 新議長より、ASBJ 西川委員長他の業績に対する謝辞が示された後、議長就任に当たっての方針等が述べられた。主な内容は、次のとおりである。

- ・議長諮問委員会の仕組み、メンバーは、2011年度のを維持する。
- ・議長・副議長と新興市場国との連携を密にする。
- ・事務局については、AASB スタッフを中心とし、事務局業務の経験者（MASB Bee Leng Tang 氏、ASBJ 関口智和専門研究員）がサポートする体制を採る。

④ MoU の改訂

AOSSG の定款ともいうべき MoU の改訂審議が行われた。AOSSG は、発足してからまだ3年近くしか経過していないので、MoU にもいろいろ見直すべきところが指摘されてきた。例えば、AOSSG は、2009年の設立以降、議長就任の基準設定主体が年次総会を開催するとともに、議長が1年ごとに交代する仕組みが採られていた。当該仕組みは、議長が会の運営に責任を負うことを明確にする点で、設立から間もない段階における仕組みとしては有効に機能していたが、議長が頻繁に交代することでグループ運営や対外活動の継続性の観点から弊害もあり、議長を複数年とすべきとの指摘がされていた。

このため、議長諮問委員会における検討を経

て、AOSSG 前議長である ASBJ 西川委員長より MoU 改訂の提案がなされた。その結果、一部の点に関する字句修正を除き、満場一致で MoU の改訂が承認された。改訂の主な内容は、次のとおりである。

- 議長・副議長の任期を1年から2年に延長する。
- 議長・副議長の資格及び選任手続を明示する。
- 議長は、任期中の2回の年次総会の開催に責任を負うが、他のメンバーに開催を打診することができるものとする。
- 議長・副議長の役割を務める者が任期中に職務を全うすることができなくなった場合、議長・副議長が代わりの者を見つける責任を負う。

⑤ IFRS 財団アジア・オセアニア地域事務所 (サテライトオフィス)

IFRS 財団は、IASB としては初めての地域事務所を、2012年10月に東京にオープンすることを決定した。そこで、IFRS 財団の島崎トラスティー及び Lucy トラスティーより、アジア・オセアニア地域事務所（以下「オフィス」という。）設置に至るまでの経緯等について説明がされた。また、IASB Hoogervorst 議長より、IASB にとってのオフィスの戦略的重要性が強調された上で、利害関係者とのコミュニケーションや Post-Implementation レビュー、アウトリーチ等に関してオフィスが果たし得る役割について見解が示された。

これらを踏まえ、意見交換が行われた結果、関係者による小グループを組成し、オフィスの効果的な運営に向けて、さらなる検討を続けていく方向とされた。

⑥ Vision Paper を踏まえた今後の活動方針

AOSSG は、2011年6月に、AOSSG の今後

数年間における活動計画及び戦略に関するビジョンを表明した Vision Paper を公表した。この Vision Paper 取りまとめの中心的役割を果たした AOSSG 前議長（日本）より、Vision Paper を踏まえ、AOSSG の今後の活動についてどのような点を改善し得るかについて問題提起がされた。それに対して、新議長（オーストラリア）より、今後の AOSSG の活動について、次のような見解が示され、意見交換が行われた。

- IASB や IFRS 解釈指針委員会に AOSSG の見解に一層耳を傾けてもらうためにも、IFRS に関する AOSSG メンバーの底上げが重要と考えている。
- AOSSG メンバーは 32~35 か国／地域まで拡大できると考えているが、新興国／地域の懸念をより適切に理解するため、新興国／地域による助言グループ（4 か国／地域程度）を設置し、議長・副議長と定期的に対話を行う仕組みを設けたい。
- 解決策が明らかでないテーマ等についてリサーチを行っていきたいと考えており、どのようなやり方が望ましいか検討したい。また、公的部門の会計基準について何ができるかも検討すべきかもしれない。

⑦ テクニカル・セッション

以上は、AOSSG の運営に関連するアジェンダであるが、年次総会のメインアジェンダであるテクニカル・セッションは、プログラム（別添）に示されたように、次のアジェンダから構成されていた。

- IASB からの近況説明
- IASB によるアジェンダ協議
- 8つの WG による議論
- 外国通貨及び割引率に関する研究、調査等に関する議論

これらのテクニカル・セッションにおける議

論の概要については、後掲の年次総会報告（各論）において紹介されているのでご参照いただきたい（本誌 36 頁）。

⑧ コミュニケの公表

第 3 回 AOSSG 会議の年次総会の成果をまとめたコミュニケが、2011 年 11 月 30 日に公表された。コミュニケ（原文）については、公益財団法人 財務会計基準機構（FASB）のホームページに掲載されているので、適宜、ご参照

いただきたい。

5. 次回総会の開催について

第 4 回の AOSSG 会議の年次総会は、2012 年秋にネパールのカトマンズで開催される予定であり、その前においても、中間的な会議が開かれる予定となっている。

別添：第 3 回 AOSSG 会議 年次総会プログラム

2011 年 11 月 23 日（会議初日）		
時間	プログラム	
AM	9:00 - 9:15	歓迎のご挨拶（西川郁生 ASBJ 委員長他）
	9:15 - 9:30	基調演説（Lynn Wood AFRC 議長）
	9:30 - 9:45	議長、副議長の選任
	9:45 - 9:50	メンバーシップの確認
	9:50 - 10:40	MoU 改訂について
	10:40 - 11:10	休憩
	11:10 - 12:00	IASB からの近況説明
	12:00 - 12:45	収益認識 WG リーダー／副リーダー：日本／シンガポール WG メンバー：オーストラリア、中国、インドネシア、香港、マカオ、マレーシア、ニュージーランド
昼食 12:45 - 1:45		
PM	1:45 - 2:30	保険契約 WG リーダー／副リーダー：韓国／中国 WG メンバー：オーストラリア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、タイ
	2:30 - 3:15	金融商品 WG リーダー：オーストラリア WG メンバー：中国、香港、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール
	3:15 - 4:00	連結 WG リーダー／副リーダー：シンガポール／中国 WG メンバー：香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、スリランカ、タイ、ウズベキスタン

4:00 - 4:30	休憩
4:30 - 5:15	農業 WG リーダー/副リーダー：インド/マレーシア WG メンバー：中国、香港、インドネシア、日本、韓国
5:15 - 5:30	MoU 改訂について (フォローアップ)
夕食会 7:00 - 9:30	

2011年11月24日 (会議2日目)		
時間	プログラム	
AM	8:00 - 8:30	IFRS 財団サテライトオフィスについて
	8:30 - 9:15	Vision Paper を踏まえた議論
	9:15 - 10:00	IASB の将来のアジェンダ・コンサルテーション 2011
	10:00 - 10:45	イスラム金融 WG リーダー：マレーシア WG メンバー：オーストラリア、インドネシア、韓国、パキスタン
	10:45 - 11:15	休憩
	11:15 - 12:00	排出権取引 WG リーダー/副リーダー：中国/日本 WG メンバー：韓国、インド
	12:00 - 12:45	外国通貨 プレゼンター：韓国
	12:45 - 1:00	写真撮影
PM	昼食 1:00 - 2:00	
	2:00 - 2:15	プレスリリース案について
	2:15 - 3:00	リース WG リーダー/副リーダー：シンガポール/インドネシア WG メンバー：オーストラリア、中国、香港、日本、韓国、マカオ、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、スリランカ、タイ、ウズベキスタン
	3:00 - 3:30	割引率
	3:30 - 3:40	IASB 議長からの挨拶
	3:40 - 4:00	MoU 改訂の承認